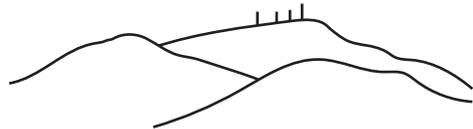


Youth Manna

2019/11/25 - 12/1



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2019/11/25(月)

ヘブル 11:17-31

ここに出てくる人たちは、心に信じ、実際に従ったり、行動を起こした人たちです。神様に語られていることを実際に行動に移す時に、その人が本当に信じているかどうかが問われることになるよね。信仰によって歩むとき、神様はご自身の栄光をその人の人生に表されます。そしてその人は、神様と自分の歩みの中に証しを得る(11:2)ことになるんだ。この箇所は僕らの信仰に火をつけるような箇所だね!

「信仰によって、私は～をしました」とはっきり言えるような人生を生きたいですか?信仰による歩みをしたいと願うなら今神様に心から求めよう!是非声に出して祈ろう!自分の内にある信仰の一步を、従う心を持って小さな行動から踏み出そう!

2019/11/26(火)

ヘブル 11:32-40

僕らは聖書に登場する数多くの信仰者の証を見ることが出来る。彼らの生き方から学び、教訓を得ることが出来るのは大きな恵みだね。彼らは信仰によって神様の栄光を見たけれど、同時に多くの困難も経験したんだ。まだイエス様が来られていない時代、神様の約束を遙か遠くに見て、神様が喜ばれる生き方をした人たちがいることを知ることは、どれほど僕らの信仰を励ますだろうか。

今はイエス様によって新しい契約の中に生きることが出来る時代です。神様は君を用いて、この世界で偉大なことをしたいと思われています。それに応えて生きる秘訣は信仰です!

不可能と思えることでも、信じて祈り続けよう!自分のことだけでなく、周りの人のためにも祈っていきましょう!

2019/11/27(水)

ヘブル 12:1-13

私たちは苦しみにあうとき、その苦しみに目がいってしまい、イエス様とともに歩くことが難しくなってしまうことがあります。しかしそのようなときにも、信仰の創始者であり完成者であるイエスから目を離さないように、と勧められています(2節)。イエス様は多くの苦しみや困難があったけれど、救われる者が起こされるという喜びのために、恥や苦しみを忍び、死んで復活して天の大祭司となられました。だから、苦しみのあるときにイエスから目を離さないように、そして、その苦しみを主の訓練と受け止めるように励ましています。

主よ、苦しみや困難のなかにあっても、主を見上げることができるよう、助けてください。イエス様とともに歩む喜びを増し加えてください。

2019/11/28(木)

ヘブル 12:14-29

今日の箇所を大きくまとめると「人生のゴール」である。キリスト者の人生のゴールは希望と喜びに満ちたものである。28節で、それは「揺り動かされない御国」と書かれている。永遠の御国である。

世の中には、この素晴らしいゴールを選択することも知らずに、人生のゴールは無であるなど、多くの人は人生のゴールがどこにあって、それはどういうものなのかわからないでいる。

そのような中にいる友達、知り合いの救いのために祈ろう!そして、信仰のゴールのすばらしさを再確認し、キリストから目を離さずに走り続けよう!!

2019/11/29(金)

ヘブル 13:1-17

【毎月28日はニワトリの日】

●観察:たくさんの具体的な勧めが書いてある。これらの勧めは「善を行うこと」(16)につながってくる。

●解釈:どうして善を行うのだろうか?①私たちは天の故郷(天国)をめざしているから(14)②神様が喜ばれるから(16)だね。天国も神様も目には見えない、だからこそ今週の日曜日のメッセージを思い出そう。

●適応:イエス様に目を向けよう。善を行おうときに葛藤や難しさを感じても、主は「あなたを見放さず、あなたを見捨てない」。時間をさいてデボをして、神様との時間を勝ち取ったあなたを神様は喜んでいよ!

2019/11/30(土)

ヘブル 13:18-25

今日の箇所は「私たちのために祈ってください」という言葉から始まるね。この手紙を書いた人は、これまでの内容でもわかるように、彼らに律法やイエス様の救いについて教えたり、アドバイスをする立場の人だった。だけど、「祈られる」ことをお願いする低い姿勢を最後に示しているね。そして、この手紙のことばを信仰をもって受け入れた1人1人に対しての祝福を祈っている。場所が離れていても、主にあって私たちはひとつ、祈りによって支え合うことができるんだ。

私たちにとって、お互いのために祈ることも、祈られることもすごく大切なこと。今日、自分のリーダー、スーパーバイザー、牧師のために祈ろう!友だちや家族に祈って欲しいことを伝えて祈ってもらおう!

2019/12/1(日)

詩篇 24 篇

2019年も残すところあと1カ月。今年はどうな歩みの一年になったでしょうか。12月はイエス様の誕生に感謝し、再臨を待ち望む時でもあります。

この箇所では、栄光の主がおいでになるので、頭を上げよという呼びかけが繰り返されています。このことば、栄光の主であるイエスキリストについての預言でもあります。

頭を上げよ、という呼びかけに、あなたはどのように応答するでしょうか。第一アドベントの今日、おいでになる方に心を開き、お迎えしよう。